

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 5 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願  
いいたします。

記

1 情報の内容 トマト黄化葉巻病の発生

2 対象病害虫 トマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）、タバココナジラミ（ウイルス媒介虫）

3 発生状況

(1) トマト黄化葉巻病の 11 月の定点調査では、発病株率が 0.75% と平年値に比べ 5.77 倍と多  
発生であり（図 1）、ウイルス媒介虫のタバココナジラミの寄生株率も 12.25% と平年値に  
比べ 2.31 倍と多発生となっている（図 2）。

(2) 定点調査以外の一般ほ場においても例年以上の発生を確認している（現場からの依頼によ  
る遺伝子診断結果）。

(3) 気象予報では、気温は高く、降水量はほぼ平年並とされており、媒介虫の発生には助長的  
であるため、本病の発生拡大に注意する。

4 防除上の留意点

TYLCV 耐病性品種は、発病しなくても体内でのウイルス増殖を完全には抑制できないので、  
耐病性品種を用いる場合であっても基本的な防除対策は必要となる。

(1) 発病株は早急に除去する。

(2) 媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。

(3) 施設内外の雑草は、媒介虫の増殖源となるので除去する。

(4) 栽培終了後、抜根、株元切除などして全株速やかに枯死させるとともに、施設を閉め切り、  
残存媒介虫を死滅させる。

(5) 開口部ネットの敷設などで春以降の媒介虫の移動を極力抑制する（目合いは、0.4 mm 目合い  
以下が望ましい）。

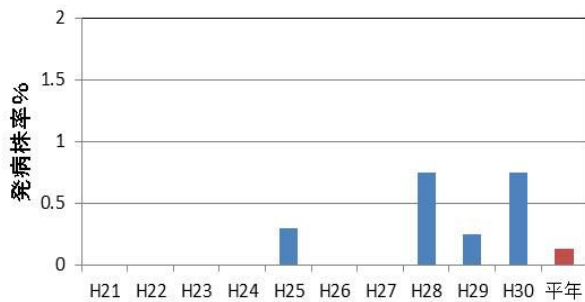


図1 トマト定点調査(11月)における黄化葉巻病の発病株率

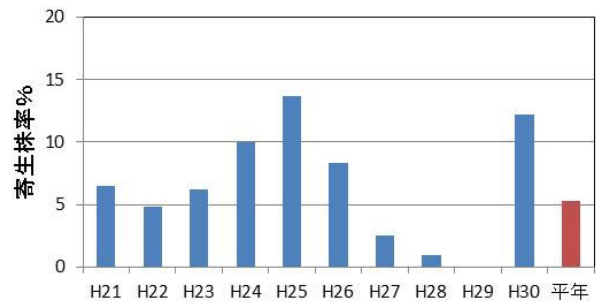


図2 トマト定点調査(11月)におけるタバココナジラミの寄生株率